



2023年8月14日

各位

会社名 株式会社 キューブ
代表者名 代表取締役社長 CEO 松村 智明
(コード番号: 7112 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 福岡 裕太
(TEL. 03-6427-0791)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年8月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	5,954	957	950	659	108.56
今回修正予想 (B)	5,060	440	444	299	49.31
増減額 (B - A)	△893	△516	△505	△359	
増減率 (%)	△15.0	△54.0	△53.2	△54.6	
(参考) 前期実績 (2022年12月期)	5,559	907	898	609	110.58

2. 修正の理由

当社は、2023年12月期の予算策定時点において、コロナ禍における三密を避けるスポーツとして注目が高いゴルフマーケット需要の高まりを背景に、引き続き国内外における市況が堅調に推移することを想定の上、業績予想を策定いたしました。

2023年12月期第2四半期末時点において、コロナ禍における行動制限等は解除され、コロナ禍におけるゴルフブームの過熱感が落ち着いてきており、特に韓国を中心として当社が当初想定していた市況とは異なる状況となっており、売上を中心に当初業績予想の達成が困難であることが予測できる状況となりましたので、業績の下方修正を行うことを決定いたしました。

以下に、業績予想修正の要因を記載いたします。

(売上)

各事業区分別の売上の当初業績予想及び修正後の業績予想は以下のとおりです。

(単位：百万円、%)

事業区分	(参考) 前期実績	当初予想 (A)	修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率
国内リテール	1,473	1,835	1,682	△153	△8.4
国内EC	1,015	1,242	1,128	△113	△9.1
海外EC	126	258	150	△107	△41.8
韓国卸	2,096	1,846	1,390	△456	△24.7
海外卸	208	275	196	△79	△28.7
国内卸	608	467	481	+14	+3.0
その他	32	29	31	+2	+7.4

最も影響の大きい韓国卸に関しては、コロナ禍において、2022年に韓国内におけるゴルフ需要が急激に増加したことで、韓国代理店からの受注が一時的に増加し、売上が急増した反動により、今期については当初予算比24.7%減と当初予想を修正いたしました。

次に、海外卸については、当初予算比で28.7%減と当初予想を修正しております。当初の想定より立ち上がりが遅れているものの、足元では、インドネシア、タイ、台湾など新規国での受注獲得や現地パートナーとの交渉を継続的に進めており、引き続き来期以降の売上に繋げてまいります。

また、B2Cチャネルについては、海外ECは前期比104.7%の成長を見込んでおりましたが、コロナ需要の反動で韓国からの受注が前年比で減少している等を背景に、前期比では19.1%の成長にとどまり、当初予算比では41.8%減と当初予想を修正いたしました。引き続き、海外ECサイトへの新規流入と顧客数の増加は順調に進んでおり、新規顧客層に向けた売上の拡大に向けての取り組みを進めてまいります。国内については、コロナ禍におけるゴルフブームの落ち着いたことを背景として、前期の売上は上回るものの、当初予想に対しては未達となる見込であり、国内リテールは当初予算比8.4%減、国内ECについては当初予算比9.1%減と当初予想を修正いたしました。

(営業利益、経常利益及び当期純利益)

営業利益、経常利益及び当期純利益においてそれぞれ、売上高が当初予想を下回ることを主要因として、下方修正いたしました。なお、売上高の減少に伴い減少した売上原価以外の費用につきましては、概ね想定通りの進捗となっております。

3. 今後の方針

2023年12月期は、世界に向けてブランドを発信していくための素地として、国内流通網の整理と開発を強化し、大型フラッグシップストアの出店、既存店のリニューアルや増床などを計画的に進めており、また、海外売上の拡大に向けては、海外ECにおいて好調に推移しているトラフィックの増加とCVR(顧客転換率)の上昇による売上の拡大、海外卸において新規展開国のパートナー候補との交渉を進めており、2024年度以降の成長に向けた投資の1年と捉えております。

引き続き中長期的な成長を目指し、国内外の顧客獲得と新規事業開発を進めてまいります。詳細については、本日開示しております「2023年12月期 第2四半期決算報告資料」も併せてご参照ください。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上